

2004年5月

各 位

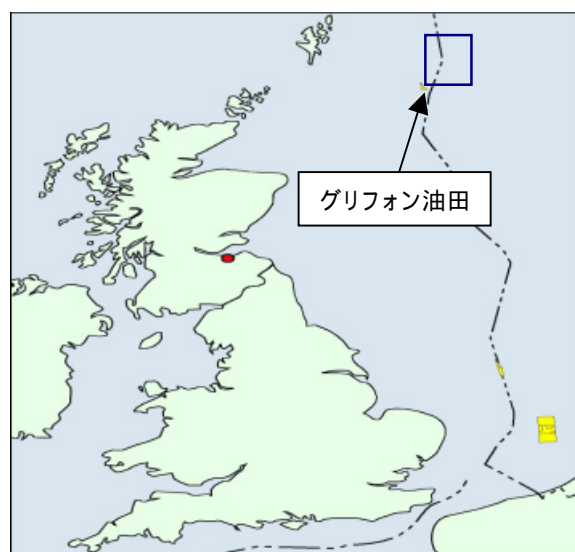
双 日 株 式 会 社

双日、イギリス領北海油田の鉱区権益を取得

～ 上流権益投資を通じ、エネルギー資源事業での
バリューチェーンを構築 ～

双日株式会社は、イギリス領北海の北部に位置するグリフォン油田（Gryphon）およびグリフォン・サウス油田（Gryphon South）を含む鉱区において英国独立系大手石油開発会社のケアン・エナジー社（Cairn Energy Plc）が子会社を通じて保有する鉱区の権益10%を約20億円で取得しました。

1993年より原油生産が開始されているグリフォンおよびグリフォン・サウス油田の生産量は現在日量約10000バレルですが、2004年末には18000バレルに増産することが見込まれています。双日の増産後の持ち分生産量は日量1800バレルになり、長期契約でBP社（英）やトータル社（仏）などに販売して参ります。生産は2018年までの長期にわたるもので、2010年からは原油に加えてガスも生産される予定です。



【グリフォン油田エリア】

本鉱区の原油は、保有する浮体式海洋石油貯蔵生産積出し設備(Floating Production Storage Offloading system = FPSO) にて出荷されていますが、近隣の他鉱区から産出される原油も当該 FPSO を利用して貯蔵・出荷されており、双日は設備使用料収入も得ることになります。



【グリフォン FPSO】

双日のエネルギー資源事業は、既に石油・ガスの生産が開始されている“生産鉱区”、または、既に石油・ガスの存在(埋蔵)が確認され、いまだ生産に至っていない“開発鉱区”に的を絞っています。同一地域・同一鉱区にエクスポージャーを集中させず、米国、英国、南米、アフリカ、中東などの地域にリスクの分散を図りながらノン・オペレーターとして上流権益投資を展開しています。現在増産作業中の石油・ガス鉱区からの産出量を含めると、双日の石油・ガス持ち分生産量は、本年末には原油換算で日量10000バレルを優に超える予定です。

双日は「既発見・未開発・生産中」の石油・ガス上流権益への投資に加え、FPSO、リグ(掘削設備)など石油・ガス生産設備への投融資、および国内外子会社を通じた石油・ガスの販売、下流へのトレーディングまで、複合的に石油・ガス事業を派生させて展開するユニークな取り組みを行っており、エネルギー資源分野を双日のコア事業としてさらに積極的に展開して行く予定です。

< 双日(株)の保有する石油・ガス鉱区権益 >

| 地域 | 石油・ガス田 | 権益比率 | 生産量(日量) - 本年末時点の予定 - |
|-----------------|----------------------------------|-------------|------------------------------|
| < 生産中 > | | | |
| 米国/メキシコ湾沖 | ウェストキャメロン、ガーデンバンクなど計 19 の石油・ガス鉱区 | 12.5-50.0 % | 7,500 バレル (4,500 万立方フィート) |
| 英領北海 | グリフォン油田、 グリフォン・サウス油田 | 10.0% | 1,800 バレル |
| ガボン沖 | エタメ油田 | 5.8% | 1,500 バレル |
| インドネシア沖 | ランサ油田 | 9.8% | 600 バレル |
| 持ち分生産量合計 | | | 11,400 バレル (原油換算) |
| < 開発中 > | | | |
| カタール沖 | カルカラ油田 | 14.2% | 生産開始予定 2005 年 ~ |
| ブラジル/ カンポス湾沖 | フラージ油田 | 1.9% | 生産開始予定 2007 年 ~ |

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03 - 5446 - 1061